

あなたの 500 で //

里山林整備に取り組みました

1 実際に行ったのは…

荒廃の著しい里山林の再生整備を県主導で実施。事業計画を立てた63箇所のうち97%に及ぶ61箇所で行いました。

また、市町村が行う、地域住民等との協働による里山林整備(提案型里山林整備)や里山林健全化のための整備を支援しています。



地域住民等による里山林整備

区分	事業計画	実績	進捗率	
県	里山林再生整備	63箇所	61箇所	97%
市町村	提案型里山林整備	50箇所	35箇所	70%
	里山林健全化整備	79箇所	78箇所	99%
計	192箇所	174箇所	91%	

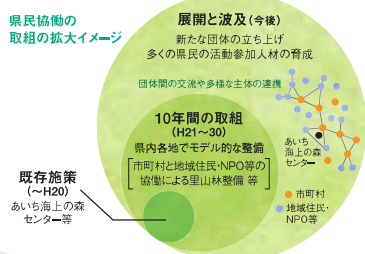
3 こんな課題も…

大きな成果を出している一方、以下のような課題も見つけました。

これまでモデル的に行われた里山林の保全活用の取組を県内各地へ展開、波及させることが必要

県民や地域のニーズの多様なニーズを捉え、県民協働の取組を促進することが必要

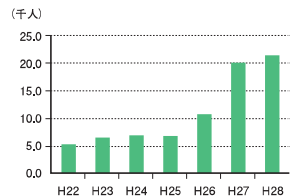
県民協働の取組の拡大イメージ



2 こんな成果が…

この事業が契機となり、地域住民やNPOが継続的に里山林の保全活用に取り組むようになりました。里山林保全活用の活動への参加者は、平成22年度からの8年間で延べ8万人に及びます。その数は年々増加傾向にあり、28年度の参加者数は22年度と比べて約4倍となっています。

里山林保全活用の活動への延べ参加者数



4 これからは…

以下のような活動を行います。

市町村、地域住民、NPOが主体となった里山林の保全活用の取組に対重点的な支援を行います

多くの県民が里山林の保全活用に参加できる仕組みを作ります

こんな未来が待っています!

指導者の育成や人材、情報のネットワーク化が進み、里山林の保全活用体制が整備されます。



あなたの 500 で //

都市緑化に取り組みました

1 実際に行ったのは…

市町村等が推進している「市街地内の緑の保全・創出」「民有地の緑化推進」「美しい並木道の再生」「県民参加による都市緑化の推進」などの取組を支援しました。計画に対する実施率は97%と高い数値を示しています。



民有地の屋上緑化

区分	事業計画	実績	進捗率
身近な緑づくり事業	124箇所	114箇所	92%
緑の街並み推進事業	1,000件	879件	88%
美しい並木道再生事業	145箇所	136箇所	94%
県民参加緑づくり事業	780回	854回	110%
計	2,049	1,983	97%

3 こんな課題も…

大きな成果を出している一方、以下のような課題も見つけました。

都市の緑の減少は減少傾向が続いているため、都市の緑を守り、増やすことが必要

より多くの県民に緑づくりに関わってもらうことが必要

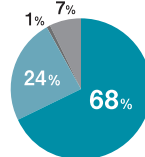
事業がより一層活用され、実施効果を高める検討をすることが必要



2 こんな成果が…

8年間で延べ16万人の県民が県民参加緑づくり事業に参加。約82haの緑を保全・創出したほか、67kmにも及ぶ並木道が再生されました。参加者に対しアンケート調査を行ったところ7割近い参加者が「森や緑への関心が高まった」と回答しているほか、8割以上の参加者が「今後も参加したい」と回答していることが分かりました。

イベントに参加することで森や緑への関心は高まったか



県民参加による園庭の緑化

- …関心が高くなった
- …前と変わらない
- …関心が低くなった
- …わからない

4 これからは…

以下のような活動を行います。

都市の緑を守り、育てる取組を引き続き推進します

緑化イベントの開催など、効果的な普及啓発の実施に努めます

都市部に残る樹林地や緑地(農地を含む)について、質への配慮や活用を検討します

都市の緑の活動につながるさまざまな要素(花など)の取り込みを行います

こんな未来が待っています!

緑や花であふれた美しい都市が形成されます。



あなたの500で

環境活動・学習推進に取り組みました

1 実際に行ったのは…

NPOや市町村等が行う環境活動や学習活動を支援しました。その数は821件にも及びます。また、28件の生態系ネットワーク形成に関する取組に対して2支援を行いました。



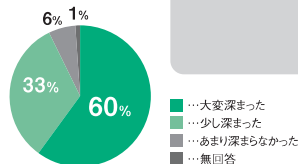
生態系ネットワーク形成の取組

区分	事業計画	実績	進捗率
環境活動・学習推進事業	900件	849件	94%

2 こんな成果が…

延べ52万人が環境活動等に参加し、生態系ネットワーク形成の取組が県全域で展開されました。参加者に対するアンケート調査を行ったところ、9割以上が「森や緑の重要性に対する理解が深まった」と回答しました。

取組に参加することにより森や緑の重要性に対する理解が深まったか



3 こんな課題も…

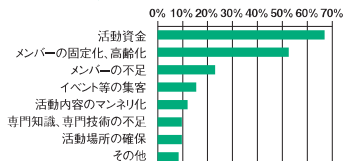
大きな成果を出している一方、以下のような課題も見つけました。

環境保全活動に参加したことの県民は1割ほどしかない

NPO等の7割が活動資金を課題としている

地域本来の自然環境を保全、再生して、つなげていくことが必要

活動を継続・発展させていく上での課題



4 これからは…

以下のような活動を行います。

環境学習施設等による森と緑に関する普及啓発を拡充します

多様な主体が行う環境保全活動や環境学習を支援します

多様な主体が連携した生態系ネットワーク形成の取組を拡充します

こんな未来が待っています!

県民が環境活動に取り組む機会が増え、県民の環境保全に対する意識が醸成されます



環境学習の様子

あなたの500で

普及啓発に取り組みました

1 実際に行ったのは…

「木の香る学校づくり推進事業」として、県産の木材を材料とした机や椅子、下駄箱等の導入を小中学校で推進しました。また、間伐材搬出や公共の場における木製ベンチ導入の支援も行いました。



県産木材を使用した机・椅子の導入

区分	事業計画	実績	進捗率
木の香る学校づくり推進事業(机・椅子)	70,000セット	81,051セット	116%
木の香る学校づくり推進事業(下駄箱等)	1,640台	1,838台	112%
愛知県産木材利活用推進事業	80件	62件	78%

3 こんな課題も…

大きな成果を出している一方、以下のような課題も見つけました。

「あいち森と緑づくり税」の認知度が1割と低調

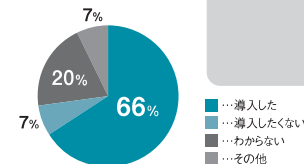
人工林の高齢化が進み、「伐る→使う→植える→育てる」という森林資源の循環の促進が必要

県産木材を導入する小中学校や木製ベンチを設置する市町村に偏りがある

2 こんな成果が…

県内市町村の半数が、小中学校に県産木材を使った机や椅子を導入しました。また、導入校の多くが、今後の導入を希望しています。このほか、間伐材搬出量が3割増加し、木製ベンチは施設利用者から好評を得ています。

今後も机・椅子を導入したいか(事業実施校)



4 これからは…

以下のような活動を行います。

教育機関との連携や、ロゴマークの作成・活用等、効果的な情報発信、普及啓発を実施します

第70回全国植樹祭の開催理念を継承し、PR効果の高い施設や用途での県産木材の利用を促進します

こんな未来が待っています!

県産木材を使用したベンチ等を導入する施設が増え、県民が県産木材に触れる機会が多くなります



県産木材の利用 人づくり(木育)



公共施設PR効果の高い民間施設